

令和4年度の予算要望書を区長へ提出!!

区議会公明党は令和3年12月1日、斎藤 猛区長に対し令和4年度の予算要望書を提出しました。

要望書では

- ①大規模水害対策へのソフト・ハード両面の強化
 - ②「SDGs未来都市」として、さらなるユニバーサルデザインの推進
 - ③医療的ケア児の就園や就学に向けた支援体制整備 ——など、重点要望をはじめ、7分野173項目を要望しました。
- 斎藤 猛区長からは、前向きに検討する考えが示されました。



主な重点要望

- 新庁舎建設と高台まちづくりの推進を。
- 区内中小企業のデジタル化の支援を。
- デジタルデバイド（情報的弱者）の解消と、来庁不要のデジタル化の推進を。
- 気候変動対策や次世代車の導入など新たな施策の展開を。
- ヤングケアラーへの支援を。
- 産後ケアのさらなる充実を。



- パラスポーツのさらなる振興を。
- ひきこもり対策の推進を。
- 農福連携型農園（障がい者の農業分野での活躍等）の設置を。
- 食品ロス削減の区独自の新たな取り組みを。
- 特殊詐欺対策の推進を。
- 学校図書館司書の全校配置を。



令和3年第4回定例会報告

令和3年第4回江戸川区議会定例会は、11月24日から12月10までの会期で行われました。今定例会では、区議会公明党より川瀬 泰徳議員が代表質問に、中道 貴議員と伊藤 照子議員が一般質問で登壇しました。主な質疑応答は以下の通りです。

質 新型コロナウイルスワクチンの3回目の接種体制とスケジュールは。

答 12月から医療従事者、令和4年2月から65歳以上の高齢者の接種を開始する。
2回目が集団接種の方には予め接種日時を指定することで、予約の負担を解消していく。（※オミクロン株の感染拡大を受け、2回目接種から3回目接種の期間が、全世代について6ヶ月間に短縮されました。詳しくは区ホームページをご覧下さい。）



質 ダイバーシティ及び自治体SDGsのもとでの多様性社会のイメージは。

答 個人的には、良い意味でのゴチャマゼが理想の姿。様々な方がともに生きる街を目指す。



質 児童相談所・一時保護所の子どものアドボカシー（声を上げることをサポートする活動）導入と体制強化を。

答 外部のアドボケイトを導入し質の高い相談支援を目指す。
職員のケースワーク力の向上に努めたい。



質 ヤングケアラーへの支援のため、多職種と緊密な連携を図り、具体的な支援拡充を。

答 児童相談所を中心に福祉や介護、医療、教育等の関係機関が緊密に連携し、適切な支援に繋げるとともに、相談しやすい環境づくりを行う。



質 総合レクリエーション公園及び新左近川親水公園のリニューアル事業に対する本区のねらいと、区民の声を活かす取り組みは。

答 新たな賑わい空間の創出や共生社会の実現等の効果をねらっている。地域の皆様にしっかり説明し、意見を聞きながら丁寧に進め、皆様に喜んでいただける公園づくりを心がけていきたい。



質 感染の後遺症に関する相談窓口や支援体制は。

答 相談窓口を立ち上げホームページで周知している。実態把握に努め、関係機関と連携を図る。



質 気候変動適応対策の推進のため、省エネ家電やエコカー購入等への様々な融資あっせんを「（仮称）気候変動抵抗対策あっせん融資」とし、更なる普及啓発に繋げるべき。

答 融資の一本化は出来ないが、一覧として見ていただけるように工夫し、普及啓発に繋げたい。



質 学校図書館司書の全校配置と蔵書管理のデータベース化の導入を。

答 来年度の全校配置を具体的に検討している。蔵書管理のデータベース化については導入方法を含め、検討に入っている。

